

チタンを極める－現状から展望まで－

松本歯科大学 歯科理工学 黒岩昭弘

大白歯部へのチタン冠の装着が保険収載され1年半経過した。しかしながら加工に関しては未だ困難であると思われる。実際、専用の鑄造機・埋没材や焼却法も異なるので習得しなければならないこともある。これまで我々は幾多の補綴装置を経験し、最終的にはチタン製コーヌス義歯製作まで到達した。今回は初めに、歯科理工学的な性質を紹介し、次にチタン溶湯の湯流れなどを振り返りながら、鑄造欠陥の対策を提示する。その次に表面の反応層を考察しながら研磨について再考する。硬い・火花は既に昔のイメージである。本講演でチタンの特性を的確に把握し、この有用な金属の適切な運用を極めるための手助けができれば幸いである。

消費税インボイス制度について

税理士法人未来経営 税理士 熊井玄基

令和5年10月1日よりインボイス制度が始まります。インボイス制度とは、複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式のことで、「適格請求書等保存方式」とも呼ばれます。この制度が始まることにより、適格請求書発行事業者の登録手続きや、請求書、領収書等に必要事項を記載するなどの対応が必要となります。

インボイスを発行できる「適格請求書発行事業者」となるためには、税務署へ登録申請書を提出し、登録を受ける必要があります。登録手続きは令和3年10月から受付が始まっていますが、制度の理解や準備等についてはまだ十分に進んでいないものと思われます。

本講習会では、消費税の仕入税額控除の基本的な仕組みから、インボイス制度の導入による今後の実務への影響や事前準備等についての概略をお話させていただきます。